

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 4年 2月 2日

事業所名：放課後等デイサービスかのん

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・利用者それぞれに対応するためのスペース確保ができています。八鹿出張所では少し狭い感がある。	はい12 どちらともいえない6 いいえ1 わからない3 ・八鹿出張所は少し狭い感じがするが、広い空き地で活動されることもあり体を動かしているようでありがたい・もう少し広いほうが良いと思います	・出張所と合わせて、広さには限りがあるので、家具等の必要性や配置を見直し、スペースの確保を図っていく。
	2 職員の適切な配置	・指定を満たす基準を配置している。	はい 15 わからない 7 ・適切な対応をしてもらっています。	・引き続き決められた基準を守り、適正な人員配置を行っていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・当日の日程や行事予定を掲示したり、視覚的にわかりやすい環境作りに努めている	はい15 わからない 7 ・本人が把握しやすく動きやすい空間になっています	・備品などは細かく分別し、文字などで視覚的にわかりやすく収納している
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・換気、除菌をし感染予防対策を徹底している ・活動内容に応じてスペースの確保をしている。	はい 15 どちらともいえない 2 わからない 5 ・宿題のようにじっと座っているとき、活動的に動くとき、どちらも適した空間になっています	・安心安全に過ごしやすい環境作りに努めていく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・現在まだPDCAサイクルについては、スタッフ間でどういったものかの研修を行っている段階で具体的な計画をできていない。		・スタッフのPDCAサイクルの理解のもと次年度において計画策定に取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者評価は行われていない。		・他事業所の参考事例を調査しながら第三者評価の仕組みを考えていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・毎月1回、年間の研修計画を元に外部講師を招くなどしてスキルアップのための研修を行っている。		・年度当初に計画を策定し、積極的に外部機関での研修に参加するなどスキルアップを図っていく
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・担当者会議や個人記録を元にモニタリングを行い、支援計画を作成している	はい 21 どちらともいえない 1 ・定期的に作成してもらっています	・保護者や関係機関と連携を図りながら細かく分析し計画を作成していく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・担当者会議や個人記録を元にモニタリングを行い、支援計画を作成している		・保護者や関係機関と連携を図りながら細かく分析し計画を作成していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・定期的にモニタリングを行い協議し、発達やその時の状況に合わせて支援計画を改善し見直している		・保護者や関係機関と情報交換しながら定期的に見直し改善し、適切な支援内容を設定していく
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援計画書に基づき行っている	はい 21 わからない 1 ・計画に沿った支援が行われています	・申し送りや申し送り長を活用し、支援員全員が共通理解し適切な支援が行われるよう実地する
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・スタッフにより随時プログラムを企画し、当日の予定表、配置人員等明記し、スタッフ全員で共有している。	はい 20 どちらともいえない 1 わからない1 ・長期休暇のプログラムは本当に様々で大変工夫してくださっている ・いろいろな活動をしてもらっていてありがたいです	・引き続き取り組んでいく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日は、限られた時間の中で、個々の計画に沿った支援をしているし、土曜、長期休暇時には外出など社会体験プログラムなど時間を有効に使う支援を行っている。		・学校の行事の情報などを聴取して、事前に体験できるなど、児童生徒に応じた支援を行っている。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・コロナ禍での現在では感染予防対策の観点から一部の活動は控えている。その為、計画書を基に個別活動の内容を工夫しておこなっている		・集団活動・個人活動ともに新しいプログラムを取り入れていく
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎日、支援開始前にミーティング、申し送りを行い、プログラムの予定、送迎の配車などの確認等行っている。		・引き続き取り組んでいく
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・送迎時間との関係から次の日のミーティング時に気づいた点などの情報の交換をしている。		・引き続き取り組んでいく
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・健康観察など、日誌、個別の連絡帳などへ確実に記載を行っている。		・引き続き取り組んでいく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的にモニタリング会議を行い、沿って計画の見直しをし、保護者の承認を受けている。		・引き続き取り組んでいく
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・不定期ではあるが、関係者による担当者会議に出席している。	・引き続き積極的に参画していく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・児童発達支援事業所との連携、各学校との連携をしている。また、学校によっては支援計画の共有もできるような体制づくりに取り組んでいる。	・係る関係ごとに支援計画があり、情報共有しながら取り組んでいく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・自社系列事業所においては情報共有できているが、他の事業所や保護者からはその要望がないため行われていない。	・必要に応じて、保護者の承認を得ながら情報の提供は行っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・3年度は専門機関に依頼し、4回の研修を計画し、進めている。	・専門機関等の研修会など、積極的に参加していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・コロナ禍の現在では施設外の交流を控えている	はい4 どちらともいえない 2 いいえ 3 わからない 14 ・まだ利用して間もないので分かりません ・あまり障がいのない子との活動はないかと思えます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業や保護者会などの運営	・行事によっては過去において、近隣の方に声掛けをすることもあったが、コロナ渦の中、自粛している。	はい 2 どちらともいえない 3 いいえ 7 わからない 10 ・コロナ禍によりなのか、元々ないのかわかりません ・他の保護者の方とお会いすることはないですが、飯盒炊爨など交流の場は作ってもらっています	・積極的に取り組んでいこうと思う。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・重要事項説明と支援計画は、変更時に保護者に説明を行っている	はい21 どちらともいえない 1 ・十分に説明してもらっています	・変更があった場合は随時改訂版を配布し、十分な説明を心がけていく
2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・保護者に直接会って説明を行っている	はい 20 どちらともいえない 1 わからない 1 ・しっかり支援内容の説明もいただきました	・引き続き丁寧に説明していく
3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・ペアレント・トレーニングは行っていないが個別で相談を受けている	はい 2 どちらともいえない 4 いいえ 1 わからない 14 ・まだ利用して間もないため分かりません ・あまり家族支援プログラムの名目では行われていないと思います	・家族支援の実現に向けて、積極的にアピールしていく
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・その日にあった出来事や様子、学校からの様子などを送迎時に保護者に伝え、また、自宅での様子などを聞き共通理解できるように努めている	はい 21 どちらともいえない 1 ・連絡ノート、送迎時、詳しく様子を伝えてくださり家族からもなるべくお伝えするようにしています ・連絡帳でのやりとりできています	・保護者とのコミュニケーションを深め共通理解を徹底していく
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者からの要望があるときに行っている	はい 13 わからない 5 いいえ 1 わからない 3 ・送迎の際にもお話をしています ・面談としてかしまった場はありません	・子育ての悩みや相談など保護者のサポートに必要性を感じるため、相談の場を具体的に作っていく
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保護者会は組織されていないが、保護者参加のイベントなどで保護者同士の交流の場は企画している	はい 2 どちらともいえない 3 いいえ 7 わからない 10 ・コロナ禍によりなのか、元々ないのかわかりません ・他の保護者の方とお会いすることはないですが、飯盒炊爨など交流の場は作ってもらっています	・保護者同士が交流できるイベントを企画し実行していく

保護者への説明責・連携支

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・その時に応じて対応している	はい 9 どちらともいえない 4 いいえ 1 わからない 8 ・何かあったらすぐに対応してもらっています ・あると思いますがまだ利用(苦情)がないのでわかりません	・迅速かつ丁寧に対応していく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・連絡帳を通して情報伝達を行っている	はい 17 どちらともいえない 3 わからない 1 ・連絡帳や直接の電話など、情報伝達のための配慮をしてもらっています	・連絡帳以外にも情報伝達がしやすい環境作りを考える
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・個人情報に配慮し、おたよりやSNSを活用し活動の様子を発信している	はい 16 どちらともいえない 2 いいえ 1 わからない 3 ・インスタ見やすくていいです ・カラーでとてもよくわかります ・子どもも嬉しそうに見ています ・かんだよりやFBなど活動内容を発信してもらっています ・SNSで様子が見れ安心できます	・個人情報に配慮しながら、活動内容を具体的に分かりやすく発信していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・管理者、児童発達支援管理者が連携して相談員とともに行っている。	はい 19 わからない 3 ・十分に注意されています	・引き続き注意を払いながら対応していく
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・重要事項に記載されているが個別のマニュアルはできていない	はい 11 どちらともいえない 2 いいえ 1 わからない 8 ・いざという時のことは説明いただいています	・令和4年度において、防犯・感染症・緊急時対応のマニュアルを作成していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・消防計画に基づいた避難訓練をしている	はい 6 どちらともいえない わからない 14 ・避難訓練を行ってもらっています	・地域防災計画を元に独自計画に取り組んでいく
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・虐待防止マニュアルを元に年1回虐待防止に関する事例を踏まえた研修を行っている。		・引き続き年1回は必ず研修会を開いていく。また新規スタッフには就職時の新人研修にて取り組んでいく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
子の対応	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・基本的には身体拘束は行わない旨を重要事項等に記載しているが、一部利用者の状況で発達支援計画に記載し保護者の同意を得て取り組んでいる。		・身体拘束については、必要に応じて理解を得ながら慎重に取り組んでいく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・当初の契約時に必要な情報については保護者と共有し、医師の指示書、又は症状についてスタッフ内で共有が図られている。		・定期的にスタッフに確認するなど、注意を払って共有していく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットに該当する事案については逐一事例報告を行うとともにスタッフが確認できるようにしている。		・ヒヤリハット報告書を元にミーティング等でスタッフの共有を図る。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		はい 20 どちらともいえない 2 <ul style="list-style-type: none"> ・朝からはりきっています ・毎回楽しみにしています ・「大好き」「楽しみ」と通所のたのしみを伝えてくれます 	
	2 事業所の支援に満足しているか		はい 19 どちらともいえない 3 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント多くありがたいです ・支えてもらっています ・満足しており、ありがたいです 	